

第1回定例会自民党代表質問

持続可能な行財政運営

少子高齢化対策や公共施設整備、インフラ老朽化対応、さらに今後20年にわたる学校施設整備費用など、本区の行財政運営には多額の財源が求められます。将来を見据え、区民サービスの向上、手厚い福祉や質の高い教育を維持するため、財政調整基金への積み立てなど、あらゆる手段を講じて持続可能な財政運営を推進するよう要望しました。



防災協定

大館市や佐世保市などと締結している、「災害時における相互応援に関する協定」は、災害発生時に職員の派遣のみならず、富士山の噴火や原子力災害時には、区民の避難先ともなることから、降灰範囲なども考慮し遠隔地や中距離地域など、各方面に分散して協定締結先を拡充すべきと提言しました。



在宅避難

新耐震基準に適合した家屋や集合住宅の多い本区においては、在宅避難が主流になると考えます。区内の指定避難所には、収容人数分の備蓄品や支援物資しか届かないことや、自宅での備蓄の重要性など、在宅避難の注意点の周知徹底を求めるとともに、避難所近隣の在宅避難者にも支援物資が配布できる仕組みを構築するよう要望しました。

まちづくり

宮益坂から道玄坂にかけての大山街道で、道路整備事業が行われています。宮益坂整備では、歩道の拡幅のほか歩道と車道の段差解消、テラス設置の規制緩和など周辺の再開発と絡めて憩いと賑わいのある街づくりが進められるよう提言しました。



スタートアップ企業支援

本区が取組むべき少子高齢化社会、防災対策、不登校、認知症や介護支援などは、世界共通の課題となっています。これらの解決に取り組むスタートアップ企業を世界中から本区に集め、解決策をシブヤ発として世界に発信するとともに、本区の諸課題解決にも活用するよう要望しました。



教育施策

本区の区立全小中学校は文部科学省の「授業時数特例校指定」を受け、国の定める倍の時間を「探究的な学び」に充てる予定です。児童・生徒が主体となった多様な学びを進め、自主性、創造性、自ら解決する力を育むなど、本区独自の「未来の教育」を更に発展させるよう要望しました。

齋藤 竜一

渋谷区代々木 1-30-3

一柳 なおひろ

渋谷区代々木 5-34-22-411

丸山 たかし

渋谷区本町 2-7-12 マルメゾン5J

渋谷区議会
自由民主党
議員団

岡田 みほ

渋谷区恵比寿西 2-19-9-1F

松本 翔しょう

渋谷区富ヶ谷 1-52-2

岡みちる

渋谷区西原 1-12-5

中村 たけし

渋谷区東 2-21-9-1002

渋谷区議会自由民主党議員団

ご意見・ご要望など、お気軽におよせください。

TEL.3463-1034 FAX.5458-4960
自民党議員の活動がHPで閲覧できます <https://shibuya-jimin.jp/>

渋谷区宇田川町1-1(議員団控室)